

681 呼び水よびみずになる

ある物事ものごとを引き起こすきっかけになる。

682 弱音よわねを吐く

弱々よわよわしく、意気地いきぢのないことを言う。

683 世よを挙あげて

世間せけんの人々ひとびとがみんなまで。

684 夜よを徹てつする

徹夜てつやで物事ものごとを行う。

685 世よをはばかる

世よの中なかに遠慮えんりよして、人前ひとまえに出るのを避ける。人目ひとめを避けてひっそりと暮らす。

686 烙印らくいんを押おされる

消せない汚名おめい(悪い・不名誉ふめい)な評判ひょうばんを受ける。また、そのような人物じんぶつだと決めつけられる。

687 埒らちが明あかない

問題もんだいが解決かいけつしない。仕事しごとがはかどらない。

688 溜飲りゅういんが下さがる

不平ふへい不満ふまんや怒りいかが消きえて気が晴はれる。すつきりする。

689 竜虎相打りゅうこあいつ

優劣ゆうれつつけがたい二人ふたりの強豪きやうこうが争あわう。

690 両手りょうてに花はな

①一人ひとりの男性だんせいが二人ふたりの女性じょせいを連れてくる。②二つのすばらしいものを一度いちどに手てに入れる。

691 両天秤りょうてんびんに掛かける

二つの物ものの優劣ゆうれつなどを比較ひかくする。対立たいりつする二つのどちらを選えらんでも損そんの無いように両者りょうしやと関係かんけいを付ける。「天秤てんびんに掛かけると同意どうい」。

692 例れいによつて例れいのごとし

いつもと同じおなことことの繰り返かえしで、新しいことあたは何なにもない。

693 レッテルを貼はる

一方的いつぱうきやうに決きめつけて評価ひやうかする。

694 老骨ろうこつに鞭打むちうつ

老おいて弱よわった体からだを励はげましながら物事ものごとを行う。

695 路頭ろとうに迷まよう

家いえや仕事しごとがなくなつてしまい、ひどく困こまつてしまう。

696 呂律ろれつが回まわらない

舌したが回まわらず言葉ことばをうまく話はなせない様子ようす。

697 論ろんをまたない

議論ぎろんするまでもない当然とうぜんのことである。

698 我が意いを得える

自分じぶんの考かんがえとぴったり一致いっちする。物事ものごとが自分じぶんの思おもつた通りどおりに進すすむ。

699 若氣わかの至いたり

若わかさからよく考かんがえずに感情かんじようのままに行動こうどうして、失敗しつぱいをすること。

700 我が道みちを行いく

他人たにんのことは気きにせず、自分じぶんの思おもうとおりに行動こうどうする。